

平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国際平和協力隊の派遣等経費			担当部局庁	国際平和協力本部事務局			作成責任者	
事業開始年度	平成4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	-			参事官 三浦 健太郎	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(第9条、第16条、第17条)			関係する計画、通知等	南スーダン国際平和協力業務実施計画(H23.11.15閣議決定/H28.3.22最終変更)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号)(以下「国際平和協力法」という。)に基づき、国際連合平和維持活動、国際連携平和安全活動、人道的な国際救援活動及び国際的な選挙監視活動等に対し、適切かつ迅速な協力を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際連合の要請に基づき、引き続き南スーダンにおいて、国際平和協力業務を実施した。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	224	157	122	118	29年度要求		
		補正予算	▲33	▲16	▲16				
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	191	141	106	118	0		
	執行額	77	76	76					
	執行率(%)	40%	54%	72%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績							
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	平和協力という政策の性質上、数値化した定量的な目標はなじまないため。 ・我が国が実施している国際平和協力業務に対する国際連合、現地政府等の評価。 ・平成25、26、27年度は国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)で国際平和協力業務を実施し、国連・現地政府等から我が国の国際平和協力業務に肯定的な評価を得ることが出来た。							
	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28 年度	目標最終年度 - 年度
	我が国の国際平和協力業務に対し、国連・現地政府等から、肯定評価を得る。	UNMISSにおける、我が国の国際平和協力業務に対し、国連・現地政府等から高い評価を得ている。	実績	件	1	1	1	-	-
		目標値	件	1	1	1	1	-	
		達成度	%	100	100	100	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	・南スーダン国際平和協力業務 国際連合南スーダン共和国ミッション(UNMISS)司令部における企画・調整等並びに施設活動等の業務を実施。	活動実績	力所	1	1	1	-		
		当初見込み	力所	1	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	当該事業執行額のうち派遣に係る経費	単位当たりコスト	-	-	60,657,481	67,242,302	-		
		計算式	金額/力所	-	60,657,481/1	67,242,302/1	-		

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	職員諸手当	24							
	諸謝金	0.2							
	国際平和協力業務旅費	26							
	委員等旅費	0.2							
	国際平和協力業務庁費	67							
計	117.4	0							
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	22 国際平和協力業務等の推進							
	施策	61 国際平和協力業務等の推進(政策22-施策①)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
		我が国の国際平和協力業務に対し、国連・現地政府等からの肯定評価。	肯定評価(年度ごとの目標)	平成27年度	国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与すること。				
					施策の進捗状況(実績)				
					UNMISSにおける、我が国の国際平和協力業務に対し、国連・現地政府等から高い評価を得ている。				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係							
	国連平和維持活動等への協力は、積極的平和主義の下、我が国が国際社会の平和と安定に責任を果たすための最も有効な手段の一つである。現在、要員派遣中のUNMISSにおいては、国連・現地政府から高い評価を得ており、国連を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与している。								

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国際連合の決議に基づく国際平和のための努力に対し人的な協力を積極的に果たしていくものとなっている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国自らが実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、国際連合からの要請に基づき実施するものであり、国際平和の実現・維持のため、優先度の高い重要な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法等に基づき、競争による調達を原則としている。なお、競争性のない随意契約となった案件が2件あったが、南スーダンにおいて契約の相手方が限定されているため、その者と随意契約を行ったものである。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当性を欠いた執行は認められない。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	目的外となる執行は認められない。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	我が国要員の活動は、国連・現地政府等から高い評価を得ている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	ミッション数の増減はなかった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	国民の理解を一層促進するため、整備された施設や成果物について、HP等による積極的な情報発信に努めている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	本事業については、契約及び請求書等関係書類を精査のうえ支出しており、支出状況及び使途のいずれも適正である。我が国が、国際平和のための努力に寄与するため、引き続き、適切に実施していく必要がある。			
	改善の方向性	本事業については、引き続き適切に実施していく必要がある。			
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
内閣府国際平和協力本部事務局HP http://www.pko.go.jp/pko_j/result/s_sudan/s_sudan02.html					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0155	平成23年度	0162	平成24年度	0156
平成25年度	0110	平成26年度	0107	平成27年度	0116

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府国際平和協力本部

76百万円

国際平和協力手当の支給、
国際連合平和維持活動の実
態調査、国際平和協力業務
等の総合的な検討、事前調
査等

【随意契約(その他)等】

A. NABIL RAHWANJI & SAMER BAHLAWAN

他50社・名

40百万円

連絡調整事務所・宿舍借上げ等国際平和協
力隊の派遣に必要な経費

【個人】

B. 個人 43名

36百万円

国際平和協力手当、旅費

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.NABIL RAHWANJI & SAMER BAHLAWAN			B.個人		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	借料	連絡調整事務所・宿舍借上げ	20	人件費	国際平和協力手当	3
			旅費	国際平和協力隊員派遣旅費	0	
計		20	計		3	

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	NABIL RAHWANJI & SAMER BAHLAWAN	-	連絡調整事務所・宿舍借上げ	20	随意契約 (その他)	-	-	
2	ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)	9010701006154	物資の輸送	4	随意契約 (少額)	-	-	
3	日本通運(株)五反田航空支店	4010401022860	物資の輸送	3	随意契約 (少額)	-	-	
4	インターナショナルSOSジャパン(株)	8010401079666	南スーダン国際平和協力隊に係るメディカルサービス等の加入	2	随意契約 (公募)	-	-	
5	(株)青木メタル	4011401000039	本部長表彰副賞(カフスタイピンセット等)の購入	1.2	随意契約 (少額)	-	-	
6	澁澤倉庫(株)	6010601038102	国際平和協力本部業務用品の保管及び入出庫業務	0.7	随意契約 (少額)	-	-	
7	(有)創電社	4010502006218	ノートパソコン等の購入	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
8	(株)ジェス	6011001031465	食料品の購入	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
9	SWED GENERAL TRADING CO.LTD	-	連絡調整要員宿舍借上げ	0.5	随意契約 (その他)	-	-	
10	KDDI(株)	9011101031552	衛星携帯電話・インマルサット通信料	0.4	随意契約 (少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	国際平和協力手当及び旅費	3	-	-	-	
2	個人B	-	国際平和協力手当及び旅費	3	-	-	-	
3	個人C	-	国際平和協力手当及び旅費	3	-	-	-	
4	個人D	-	国際平和協力手当及び旅費	3	-	-	-	
5	個人E	-	国際平和協力手当	3	-	-	-	
6	個人F	-	国際平和協力手当及び旅費	2	-	-	-	
7	個人G	-	国際平和協力手当及び旅費	2	-	-	-	
8	個人H	-	国際平和協力手当及び旅費	2	-	-	-	
9	個人I	-	国際平和協力手当及び旅費	2	-	-	-	
10	個人J	-	国際平和協力手当及び旅費	2	-	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 チェック